



みどりの里

宇奈月小学校だより
3月号・第11号
令和8年3月2日

目指す子供像 うんとかんがえる子 なかよくする子 つよいからだの子 きれいなところの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山205番地 | URL <http://www.tym.e.ed.jp/>
TEL(0765)65-2288 FAX(0765)65-2800 E-mail unazuki-es@kurobe.ed.jp

宇奈月木管事件から、宇奈月温泉への思いを知る

～劇団フロンティア宇奈月小学校招待公演から～

校長 齊木 裕

劇団フロンティアから、「宇奈月小学校の children に、宇奈月木管事件を題材とした演劇を見せたい。」という話が、11月下旬にありました。劇団フロンティアは、今年で結成57年を迎えた歴史の長い劇団です。劇団員の皆さんは、仕事をもっているため、公演は、土日しかできないという話であったので、なかなか実現は難しいと思っていました。そんな中、劇団から、仕事を休んでも宇奈月小学校の children に見てもらいたいという話があり、今回の公演が実現しました。

宇奈月小学校では、これまでに生活科の町たんけん、総合的な学習の時間に宇奈月地区のことについては、いろいろ調べてきています。また、実際に宇奈月温泉に行き、足湯に入ったり、宇奈月温泉についてボランティアガイドさんから説明を受けたりしていました。しかし宇奈月木管事件については、事件名については聞いたことがあっても、実際はどういうことがあったか知らない children がほとんどだったので、絶好の機会であると考えました。

2月9日に黒部市飛騨にある劇場「シアターフロンティア」に5・6年生が行き、鑑賞しました。最初は演劇の内容が難しいのではないかと考えていたのですが、劇団の方々が小学生にも分かるように内容をアレンジしてくださったのが、とても伝わりました。そのため children は、おなかを抱えて笑ったり、劇につっこみを入れたりしながら演劇の中に引き込まれていました。80分間という長丁場でしたが、あっという間に終わってしまいました。下記の内容は、children の感想の一部です。

【子供の感想】

- ・ 「がんばらなきゃいけないのは、私も」というせりふを聞いて、昔の宇奈月の人たちは、温泉を引き続けるために、たくさん努力したんだなと思いました。
- ・ 温泉を引くために、昔の人が山に行き、苦労したことや宇奈月をもっと知ってもらおうと歌を作曲しようとしていたことを知り、温泉や宇奈月を大切にしてきたことが分かりました。私はこれからも昔の思いをつないでいくために、温泉や宇奈月を大切にしていきたいです。
- ・ 私は、「お湯は続くよどこまでも」の題名から、未来でもこの温泉を大事にしていきたいという思いが込められていると思いました。これからは、宇奈月温泉をほこりに思い、貴重だということを忘れないでおきたいです。

感想を読むと children は、この劇に込められた思いを感じ取っていることが分かりました。決して簡単な内容ではなかったのですが、劇団の方々の熱い演技から、一番言いたいことを感じ取っていることに感動を覚えました。この招待講演のために、ご尽力くださった劇団フロンティアの皆様、関係各位に深く感謝いたします。本当に、ありがとうございました。 children にとって、宇奈月の魅力を改めて感じ取ることができ、大切な財産になったことと思います。



保護者の皆様、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

スキー練習会（2月2日）



3～6年生のスキー練習会が、宇奈月温泉スキー場でありました。たくさんの指導者に恵まれ、楽しく滑ることができました。指導者ボランティア、昼食ボランティアの皆様、ありがとうございました。

雪となかよし集会（2月2日）



1・2年生と一緒にグラウンドで「雪となかよし集会」を行いました。「まとあて」「雪だるま作り」「そりあそび」をしました。たくさんの雪で子供たちは、大喜びでした。

学習参観 学年・学級懇談会（2月6日）



学習参観、学年・学級懇談会がありました。子供たちは、張り切って学習をしていました。たくさんの参観、ありがとうございました。

募金贈呈式（2月4日）

大休憩の時間に、「募金贈呈式」を行いました。児童から集まった心のこもった募金を黒部市社会福祉協議会の方にお渡しました。保護者の皆様、ご協力くださり、ありがとうございました。



なめこの植菌（2月10日）



富山県フォレストリーダー、青少年育成黒部市民会議下立支部の方々に来ていただき、5年生がなめこの植菌体験をしました。原木150本に電動ドリルで穴を開け、植菌をしました。3年間下立の山で寝かせ、鋺ヶ岳歩行会のときに食べることになります。

はじめまして あんしん集会（2月17日）



3時間目に1年生と年長さんとの「はじめまして あんしん集会」がありました。1年生が企画運営した集会でした。「じこしょうかい」「学校たんけんウォークラリー」「音楽ゲーム」「プレゼント渡し」がありました。とても楽しい集会でした。

安パト隊感謝の集い、6年生を送る会（2月27日）



1、2時間目に安全パトロール隊感謝の集い・6年生を送る会がありました。日頃お世話になっている安全パトロール隊や駐在さん等に6年生の代表がお礼を言いました。6年生を送る会では、1年生はパフォーマンス、2年生は首飾り作り、3年生はクイズ劇、4年生は招待状作り、5年生は企画運営・思い出劇、6年生は東京スカパラダイスオーケストラ「Paradise Has No Border」の合奏をしました。どの学年も、6年生に感謝する気持ちがこもっており、温かい気持ちになる集会でした。多数参観して下さった地域の皆様、保護者の皆様、ありがとうございました。

《第3回学校運営協議会（2月19日）を開催しました》

【令和7年度の学校運営協議会の皆様】会長・副会長以外は50音順

	氏名	所属団体・役職名等
会長	竹山 繁夫	内山自治振興会長・内山安全パトロール隊長
副会長	森下 泰行	宇奈月小学校後援会副会長・青少年育成黒部市民会議下立支部
	上野 岳昭	宇奈月小学校PTA会長
	大橋 朋子	人権擁護委員
	岡田 千春	浦山公民館主事
	岡田 常男	浦山自治振興会長・浦山安全パトロール隊長
	河田 稔	宇奈月温泉自治振興会長・宇奈月温泉安全パトロール隊長
	佐々木 俊一	音沢自治振興会長
	中 佳美	放課後児童クラブ指導者代表
	橋口 健児	愛本自治振興会長
	百石 富士雄	児童民生委員・主任児童委員
	齋木 裕	宇奈月小学校長

学校からは、地域の方が関わってくださった行事、アクションプランの反省、保護者アンケートの結果等について説明をし、委員の皆様から学校運営について貴重なご意見をいただきました。今後の学校運営に生かしていきます。

（協議内容）



○アクションプランから

- 森下 こつこつノートを以前は、もっとしていたような気がする。
- 佐々木 自分で考えてノートにまとめるのが難しい。
- 中 学童としては、こつこつノートは、ありがたい。宿題だけでは、時間があまる子がいる。ノートに四コマ漫画にまとめてもいいよというがなかなか取り組めない。しかし、机に向かう習慣をつけることは大切である。今は、冊数だけで表彰をしているが、ノートの質でも賞があったらよいと思う。
- 森下 アクションプラン2が、とてもよい。地域と関わる教育活動、地域行事が宇奈月小学校は多い。それが、心を育てたり、人間関係を築くことに繋がっている。できたかなチェックを毎日しているのが、よいと思う。

○アクションプラン、保護者アンケートの結果について

- 岡田常 学童側の歩道と車道の区別のつきにくい箇所は、歩道に色を塗れば、よい。専門業者に相談すればよい。
- 岡田千 他の地区では、掲示板や歩道が色分けされている。
- 森下 配付物の多くが安心メールになっているが、紙ベースのものもあってよい。
- 岡田千 公民館に遊びに来る子供たちは、シール、お菓子、タブレットを持ってくる子が多い。女子の間では、ぷっくりシールが流行っていて、シール交換をしている。男子では、カードゲームが流行っている。
- 森下 子供たちは、どんなゲームをしているのか。
- 校長 「ロブボックス」というサイトにたくさんのゲームがあるようです。
- 佐々木 子供たちが、課金をしているのか心配である。
- 大橋 富山大学の先生の「メディアと心」の話は、よいと思う。定期的に行うことがよい。
- 中 火曜日は、メディアコントロールの日なので、学童の子供は、意識している。
- 上野 私の子供もゲームにはまっている。なかなかやめないで、困っている。
- 橋口 ゲームの影響で、不適切な言葉を使うのなら、道徳の学習が大切である。
- 森下 今は保育所のころから、スマホを見ている。
- 中 孫は、スマホの使い方が上手である。子供たちはEテレよりyou tubeを見る。
- 佐々木 家では、ネットフリックス等を契約して、映画などを見ている。

○その他

- 岡田千 今年浦山地区で生まれた子は、4人しかいない。去年は、6人である。子供の数は、とても減っていることが、心配である。